

ヤングケアラー支援の取組について

地域包括ケアの一環として取り組んでいるヤングケアラー支援の取組について報告する。

1 ヤングケアラー実態調査

(1) 目的

区内のヤングケアラーの実態を把握し、支援体制強化の基礎資料とするため、調査を実施する。

(2) 調査件名

「子どもの生活についてのアンケート」

(3) 調査対象及び件数

- ・ 区立小学校に在籍する4～6年生の全児童 約5,200人
- ・ 区立中学校に在籍する全生徒 約3,500人
- ・ 区内に住民登録のある高校生世代 約5,200人

※高校生世代：生年月日が2005年4月2日から2008年4月1日の区民

(4) 調査方法

ウェブ回答による選択式と自由記述欄への直接入力。小学生・中学生は学校で配布されているタブレットを利用する。高校生世代は調査用URL、二次元コードを記載した依頼文を郵送し、各個人のスマートフォン等から回答する。

(5) 調査項目

国が実施した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」の調査項目を基本とし、必要に応じて中野区独自の文言、表現に改める。

- ・ 個人属性
- ・ 学校での生活について
- ・ 家庭での生活について
- ・ ヤングケアラーについて ※中学生・高校生世代のみ
- ・ 自由意見

(6) スケジュール(予定)

令和5年10月	小・中学生調査の実施
令和5年11月	高校生世代調査の実施
令和5年11月～	集計・分析
令和6年3月下旬	調査報告書完成

2 ヤングケアラーコーディネーターによる相談支援事業

(1) 目的

ヤングケアラー支援の知識や経験を有するヤングケアラーコーディネーターを配置し、関係機関、団体等と連携してヤングケアラーの実態を把握し、家族の介護などケアラーの要因となっている状況に応じた適切な相談支援を行うとともに、地域への啓発や人材育成等を通じ、ネットワークの構築を図る。

(2) 実施体制

本事業は NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジンに委託して実施する。本事業者は、ケアラー支援を展開してきた実績があり、特にヤングケアラー支援にあたっては、令和4年度に中野区の南部地域を中心とした実態調査や支援者のネットワークづくりを行っており、中野区内のヤングケアラー支援に係る地域資源に精通している。

(3) 相談窓口

令和5年8月1日に相談窓口を開設し、電話（平日（木曜日を除く）10時から16時まで）やメール相談を開始している。

3 中野区地域包括ケア推進会議 ヤングケアラー支援部会

(1) 部会の設置及び開催状況

地域における支援者連携のネットワークを構築し、連携のあり方や具体的な取組の検討を進めるため、中野区地域包括ケア推進会議に「ヤングケアラー支援部会」を設置した。

8月24日に初回を実施し、学識経験者による講義や出席者の課題意識の共有を行った。今年度は全3回開催し、次回以降はヤングケアラーコーディネーターの取組状況や実態調査結果の共有などを行う予定である。

(2) 構成員

学識経験者、中野区社会福祉協議会、町会連合会、民生児童委員協議会、次世代育成委員、医師会、地域包括支援センター、指定特定相談支援事業所、介護支援専門員部会、子ども食堂、中野区ヤングケアラーコーディネーター（全4名）

(3) 主な検討事項

- ・ 支援対象者の実態やニーズの把握
- ・ 課題の共有
- ・ 新たな支援策の検討
- ・ 地域における支援者連携のネットワークの構築
- ・ 当事者・家族に適切に届く効果的な情報発信